

2017年1月20日

頁	箇所	誤	正
16	(2.3)式	当期単位期間あたり売上原価 $U_{sc} = \frac{\text{当期売上高}}{U_t}$	当期単位期間あたり売上原価 $U_{sc} = \frac{\text{当期売上原価}}{U_t}$
49	(5.2)式	記号 C の説明がない	C は補充間隔期間で常に 1 である。
63	図 5.3	$k \times \sigma d \times \sqrt{Lcp}$	$k \times \sqrt{Lcp} \times \sigma d$
75	図 5.7	$k \times \sigma d \times \sqrt{Lcp} \times Rd$	$k \times \sqrt{Lcp \times Rd} \times \sigma d$
77	9 行目	式(2.39)に示す。	式(5.39)に示す。
94	10 行目	S_0	S_1
95	2 行目	季節変動の始めと終わりは立上期と終息期が数ヵ月ごとに繰り返される。	季節の始めと終わりは立上期と終息期のような動作になる。
100	7 行目	ばらつき率 Rd	ばらつき率 Rv
108	10 行目	$HTrm$	Hrm
119	図 6.36	需要予測が正確な場合の	需要予測が精確な場合の
120	図 6.37	需要予測が正確な場合の	需要予測が精確な場合の
133	表 6.3	ケース番号 21	ケース番号 2
	下から 3 行目	供給リードタイム Lcp が 5 の改善前と比較すると,	供給リードタイム Lcp が 5 の改善前(ケース番号 2)と比較すると,
	下から 2 行目	改善後は 2.45 となり	改善後(ケース番号 19)は 2.45 となり
136	下から 5 行目	工夫た	工夫した
154	下から 9 行目	大量産する	大量生産する
170	8 行目	四半期決算の場合は 120 日	四半期決算の場合は 90 日
180	12 行目	知識構造改革	事業構造改革
203	23 行目	$Hrm \geq Prm \geq Trm$ の 2 倍	$Hrm \leq Prm \leq Trm$ の 2 倍
205	2 行目	カップリングポイント	カップリングポイント